



平成 24 年 8 月 16 日

報道機関 各位：

JST プロジェクト公開シンポジウム・報道会見のお知らせ

(独) 科学技術振興機構プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループでは、8月26日（日），東京の一橋記念講堂にて公開シンポジウム「科学の不定性と社会～いま、法廷では..?～」を開催します。

当日は、パネルディスカッション終了後、18時より、**招聘ゲストを交えての記者会見 (press interview) を同時通訳付きで行います。**

資料準備のため、記者会見ご出席予定の方は、以下の事務局までお知らせ頂けると幸いです。シンポジウム当日は、「報道関係」受付を設置致します。

先端科学技術と社会の関係、専門家の科学的助言のあり方、法廷での科学的知見の扱いなど、科学と社会の関係一般に関心をお持ちの方の参加をお待ちしております。

以上

お問い合わせ先：

東北大学大学院理学研究科 国際シンポジウム事務局
担当（大石，本堂） tel. 022-795-5823, fax. 022-795-5831

sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp

シンポジウムWeb：<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/0826/>

公式twitter：<https://twitter.com/sy8261>

【シンポジウム概要】

(独) 科学技術振興機構プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」では、新しい科学裁判を開発・普及させた豪州NSW最高裁判所のマクレラン判事、科学政策論で著名なサセックス大学スターリング教授、大阪大学教授・小林傳司氏らを招き、8月26日（日）、東京・一橋記念講堂で公開シンポジウム「**科学の不定性と社会～いま、法廷では..?～**」を開催します。

専門的知識と社会的判断の関係を、世界最前線の実践と知見に触れながら問い直します（一般対象．同時通訳付き．入場無料）．申込・問合せ：東北大学理学部本堂研究室（sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp , <http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/0826/>）

(250字)

独立行政法人科学技術振興機構の研究プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ（リーダー・東北大学理学研究科 本堂 毅）では、科学の不確実性（不定性）が問われる状況での専門家の助言と法的・社会的意思決定のあり方をめぐる公開シンポジウム「**科学の不定性と社会～いま、法廷では..?～**」を開催します（8月26日、東京・一橋記念講堂）。

講演には、コンカレント・エビデンスという専門家証言の新しい手法を普及させた豪州NSW最高裁判所コモンロー首席判事のマクレラン氏、科学の不定性と社会的意思決定の理論家として世界的に著名なサセックス大学科学政策研究所のスターリング教授、日本の科学技術社会論の第一人者、大阪大学教授・小林傳司氏らを招きます。専門的知識と社会的判断のあり方を、世界最前線の実践と知見に触れながら問い直す希有な機会です。（対象：一般．同時通訳付き．入場無料）．申込・問合せ：東北大学理学部本堂研究室

（<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/0826/>, sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp）
(407字)

お問い合わせ先：

東北大学大学院理学研究科 国際シンポジウム事務局
担当（大石，本堂） tel. 022-795-5823, fax. 022-795-5831
sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp